

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>  
22・1・8(土)  
南NEWS no 105

明けましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願ひいたします。

コロナの第6波の勢いが増してきています。コロナが猛威を振るう日々、最悪のスタートですが、負けずに乗り切って、新しい一年も、子ども達がサッカーを楽しむ中で、優しく強い子に育つことを願ひ・目標として活動していきましょう。

一人ひとりのGAMBARIを認め励まし、良さを伸ばす指導に徹します。

r e s p e c t

t h a n k s

c o n s i d e r a t i o n 思いやり

の3つをみんなで大切にするクラブでありたいですね。よろしくお願ひいたします。

尊敬

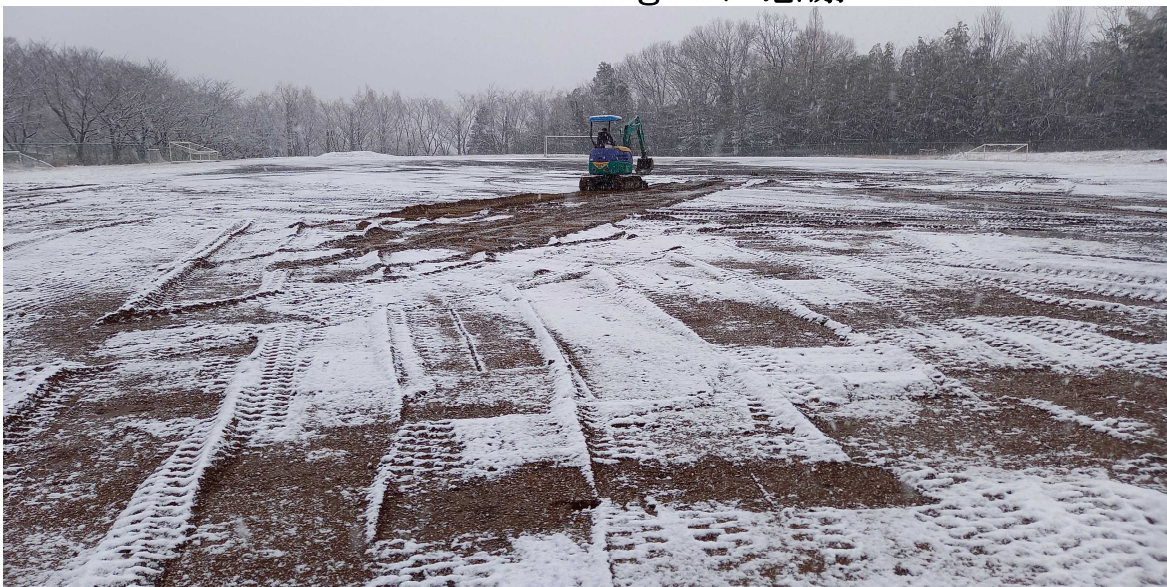
感謝

思いやり



6時間 雪の中の作業

n o b l e s s e o b l i g e に感謝！！



雪の中 文化大G西側の整地をしてくださる中西さん

1月6日(木)AM9時に文化大Gの鍵を借りてきて、中西さんの作業が始まったのは10:30。途中、昼食と用事で2度の中断がありましたが、終了したのは16:30でした。6時間の作業で、雨でえぐられて段差のあったグラウンドは平らになりました。

中西さんからのライン。

今日は多大なご心配をいただき有り難うございました。申し訳ないです。なんとか平らになりました。私も1月は時間がとれますので、子どもたちが快適な環境でサッカーができるお手伝いできればと思います。お気軽に相談ください。トンボでの整地をお願いします。

矢上もトンボで小さな段差をなくす作業をしていました。老骨には冷たい鉄のトンボが重く、きつい作業でした。中西さんのことを想えば弱音は吐けませんでした。作業中に、清水コーチが2度も顔を見せてくださり、中西さんにお礼を言うてくださったことも嬉しいことでした。有り難うございました。

明るる日、3分の1ですがトンボをかけました。緩いグラウンドでプレーしにくいかもしれませんが、“いろんな人の力に支えられてサッカーを楽しむことができるんだ”と考えてくれれば嬉しいです。

中西さんは小比企の多摩丘陵で大規模な農業を営む中西ファームの社長さんです。テレビの取材も受けてたり、小学生の農場見学もたくさんある農場です。中西さんは由井三小・由井中で染谷コーチの同級生です。

中西さんへの矢上の返信

有り難うございます！！

ぜひ、子どもたちに草刈りなどのお手伝いをさせてください。

何よりの貴重な学びになると思います。

お邪魔にならないことでお手伝いをさせてください。

お願ひいたします。

東京都立大学 浜谷尚人教授（教育心理学）に学ぶ

八王子市立柏木小学校で副校長をしているとき、若手の先生との勉強会に何度か浜谷先生をお招きして講義を受けたことがあります。小比企の寿司中でお寿司を食べながら、飲みながらお話を伺ったこともあります。

テーマは「困難を抱えた子どもを育てる」でした。そのときのノートから幾つかの先生の言葉を紹介します。

○元気で楽しく遊んでいる子は、彼らの快い記憶が生きることを支え、困難を乗り越える力となる。(サッカーもその一つになりますね)

○熱中し、共同して深い達成感を経験した快い記憶が子どもたちを育てる。(正に、市民スポーツ大会優勝の1年生の子どもたち)

○子育ては子どもに良質な記憶を創ってあげること。

自制心など、まだありますが次回に紹介します。



矢上は退職後、教育アドバイザーとして新任の先生の授業を観てアドバイスする仕事をしていたことがあります。そのときに話していた内容です。

“子どもの指導に携わる人は、子どもの願ひや思いに共感し、その言動が良ければ賞賛・感謝し、課題があれば共同してその解決を支援する。それが子どもの育ちの伴奏者としての大人の役割です。”

コーチに必要な資質は

“常に学ぶ姿勢と想像力を基盤として、尊敬・感謝・思いやり”  
です。今も肝に銘じています。

